

所 属	文化振興課
所属長	荏田 昭憲
電 話	06-6489-6385

アーティストたちと作る夏の思い出ワークショップ 「A-LAB GO+」を開催します！

1 趣旨

尼崎市では、若手アーティストの展覧会やワークショップを開催するアート発信基地「A-LAB^{えーらぼ}」を運営しています。今回、「A-LAB」を飛び出し、市内各地域の生涯学習プラザに出向いてワークショップを行います。第1回白髪一雄現代美術賞受賞者をはじめとする、市内外で活躍するアーティストたちに講師を依頼し、参加費無料で尼崎の子どもたちに個性豊かなアート体験の機会を提供します。

2 イベント内容

「コラージュで宝箱を作ろう」 川口奈々子 先生

写真や新聞紙、毛糸など、色々な材料をハサミで切って自由に貼り付けて作るコラージュという方法で、白い箱を自分だけの宝箱へと変身させよう。

場所 園田東生涯学習プラザ、小田南生涯学習プラザ
日時 (園田) 8月2日(水) 午後2時～3時30分
(小田) 8月7日(月) 午後2時～3時30分
定員 各10人
対象 小学生以上

「一筆書きのワイヤーアートを作ろう」 升田学 先生

一筆書きの要領で作るワイヤーアートを楽しく体験してもらいます。まずは簡単なモチーフに挑戦してもらい、最後にそれぞれお気に入りの生き物をワイヤーで作ります。

場所 立花南生涯学習プラザ、中央北生涯学習プラザ
日時 (立花) 8月3日(木) 午後2時～3時30分
(中央) 8月4日(金) 午後2時～3時30分
定員 各10人
対象 小学3年生以上(小学3年生は保護者同伴)

「声のかたちをつくってみよう」 林葵衣 先生

口紅や紙粘土を使って、声のかたちを色々な方法で残してみましよう。あなたの好きな言葉や残したい言葉を考えて参加してください。

場所 武庫西生涯学習プラザ
日時 8月8日(火) 午後2時～3時30分
定員 10人
対象 5歳以上(未就学児は保護者同伴、大人のみも歓迎)

「はだしの地図をつくってみよう」 林葵衣 先生

はだしで歩き、感触をフロッタージュと言葉でメモして、あなただけのはだしで歩いた地図を一緒につくってみましょう。会場の外にも出かけてみましょう。

場所 大庄北生涯学習プラザ
日時 8月9日(水) 午後2時～3時30分
定員 10人
対象 5歳以上(未就学児は保護者同伴、大人のみも歓迎)

3 申込方法

メールか直接窓口で文化振興課まで

※メールでの申し込みの場合、「ワークショップ名」「日程」「氏名(保護者同伴の場合は保護者も)」「住所」「年齢・学年」「電話番号」を記載してください。

※応募者多数の場合は抽選

メール ama-event@city.amagasaki.hyogo.jp

申込期間 7月7日(金)～21日(金)

4 講師プロフィール

川口奈々子(かわぐちななこ)

2005年京都市立芸術大学大学院 美術研究科絵画専攻油画修了。2013年 Middlesex University (イギリス・ロンドン) MA Fine Art 修了。日々コラージュやドローイングを重ねながら自身の中にある言葉になる前のイメージや形を観察し絵画を制作している。主な個展に、2020年「prev/next」Kobe Studio Y3(兵庫)、2019年「ドローイング・マニア」studio J(大阪)など。2023年「オマージュ TAKARAZUKA-春プリマヴェーラ」宝塚芸術文化センター(兵庫)、2022年「Infectious World」GalleryG-77(京都)など参加。

升田学(ますだまなぶ)

美術家・ダンサー。2006年より一本のハリガネを一筆書きの要領で作る美術作品「ヒトスジ」を発表。6×7mの天井吹き抜け空間を活かし、大空を借景にしたインスタレーション展「絵空事」を開催するなど、展覧会を多数。一方でダンサーとして「夜のことば」「漂流詩」「カオルノノマス」などを企画。元維新派。

林葵衣(はやしあおい)

1988年京都府生まれ。2013年京都造形芸術大学修士課程修了。音声をはじめとする身体のふるまいに独自の形を与え提示している。主な個展に、2023年「有り体を積む」A-LAB(兵庫)、2022年「息骨に触れる」KUNST ARZT(京都)、2020年「息差しの型取り」+2(大阪)、「一振りの音」+2(大阪)、「遊動躰」Gallery PARC(京都)など。2020年度第4期常設展「画家の痕跡」高松市美術館(香川)、2018年「VOCA展」上野の森美術館(東京)に参加。2022年第1回白髪一雄現代美術賞、2015年第63回芦屋市展吉原賞を受賞。

5 次回展

A-LAB Exhibition Vol.39 「RE:AMA(りあま)」

会期: 8月26日(土)～9月10日(日)

映像作家として活躍する林勇氣氏、デザイナーとして活躍する後藤哲也氏が監修し、追手門学院大学と近畿大学の学生たちがリサーチを元に作品を制作する合同リサーチプロジェクト「RE:AMA(りあま)」を開催します。(以上)



アーティストたちと作る 夏休みの思い出ワークショップ

A-LAB GO+

コラージュで宝箱を作ろう



はだしの地図をつくってみよう



一筆書きのワイヤーアートを作ろう



声のかたちをつくってみよう

アート発信基地「A-LAB」^{えーらぼ}では、日頃、若手アーティストの展覧会やワークショップを開催しています。今回「A-LAB」を飛び出し、市内各地域に向かい生涯学習プラザでワークショップを行います。第1回白髪一雄現代美術賞受賞者をはじめとする、市内外で活躍するアーティストたちと一緒に、楽しくアートを体験してみましょ！

申込期間 7月7日(金)ー21日(金)

参加費 無料

申込方法 メールか直接窓口で文化振興課まで
※メールでの申込の場合、「ワークショップ名」「日程」「氏名(保護者同伴の場合は保護者も)」「住所」「年齢・学年」「電話番号」を記載してください
※応募者多数の場合は抽選
メール ama-event@city.amagasaki.hyogo.jp

8/3(木) 8/4(金) 一筆書きのワイヤーアートを作ろう

一筆書きの要領で作るワイヤーアートを楽しく体験してもらいます。まずは簡単なモチーフに挑戦してもらい、最後にそれぞれお気に入りの生き物をワイヤーで作ります。

場所 立花南生涯学習プラザ(8/3) / 中央北生涯学習プラザ(8/4)
時間 午後2時から午後3時30分 定員 各10人
対象 小学3年生以上(小学3年生は保護者同伴)



Photo: Yukie Murakami

升田学 先生

美術家・ダンサー。2006年より一本のハリガネを一筆書きの要領で作る美術作品「ヒトスジ」を発表。6×7mの天井吹き抜け空間を活かし、大空を借景にしたインスタレーション展「絵空事」を開催するなど、展覧会を多数。一方でダンサーとして「夜のことは」「漂流詩」「カオルノノマス」などを企画。元維新派。

8/2(水) 8/7(月) コラージュで宝箱を作ろう

写真や新聞紙、毛糸など、色々な材料をハサミで切って自由に貼り付けて作るコラージュという方法で、白い箱を自分だけの宝箱へと変身させよう。

場所 園田東生涯学習プラザ(8/2) / 小田南生涯学習プラザ(8/7)
時間 午後2時から午後3時30分 定員 各10人
対象 小学生以上



川口奈々子 先生

2005年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻油画修了。2013年Middlesex University(イギリス・ロンドン)MA Fine Art修了。日々コラージュやドローイングを重ねながら自身の中にある言葉になる前のイメージや形を観察し絵画を制作している。主な個展に、2020年「prev / next」KOBESTUDIO Y3(兵庫)、2019年「ドローイング・マニア」studio J(大阪)など。2023年「オマージュ TAKARAZUKA-春プリマヴェーラ」宝塚芸術文化センター(兵庫)、2022年「Infectious World」GalleryG-77(京都)など参加。

8/8(火) 声のかたちをつくってみよう

口紅や紙粘土を使って、声のかたちを色々な方法で残してみましょ。あなたの好きな言葉や残したい言葉を考えて参加してください。

場所 武庫西生涯学習プラザ 時間 午後2時から午後3時30分
定員 10人 対象 5歳以上(未就学児は保護者同伴)
(大人のみも歓迎、小中学生優先)



林葵衣 先生

1988年京都府生まれ。2013年京都造形芸術大学修士課程修了。音声をはじめとする身体ふるまいに独自の形を与え提示している。主な個展に、2023年「有り体を積む」A-LAB(兵庫)、2022年「息骨に触れる」KUNST ARZT(京都)、2020年「息差しの型取り」+2(大阪)、「一振りの音」+2(大阪)、「遊動線」Gallery PARC(京都)など。2020年度第4期常設展「画家の痕跡」高松市美術館(香川)、2018年「VOCA展」上野の森美術館(東京)に参加。2022年第1回白髪一雄現代美術賞、2015年第63回芦屋市展古原賞を受賞。

8/9(水) はだしの地図をつくってみよう

はだしで歩き、感触をフロッタージュと言葉でメモして、あなただけのはだしで歩いた地図を一緒に作ってみましょ。会場の外にも出かけてみましょ。

場所 大庄北生涯学習プラザ 時間 午後2時から午後3時30分
定員 10人 対象 5歳以上(未就学児は保護者同伴)
(大人のみも歓迎、小中学生優先)

RE:AMA

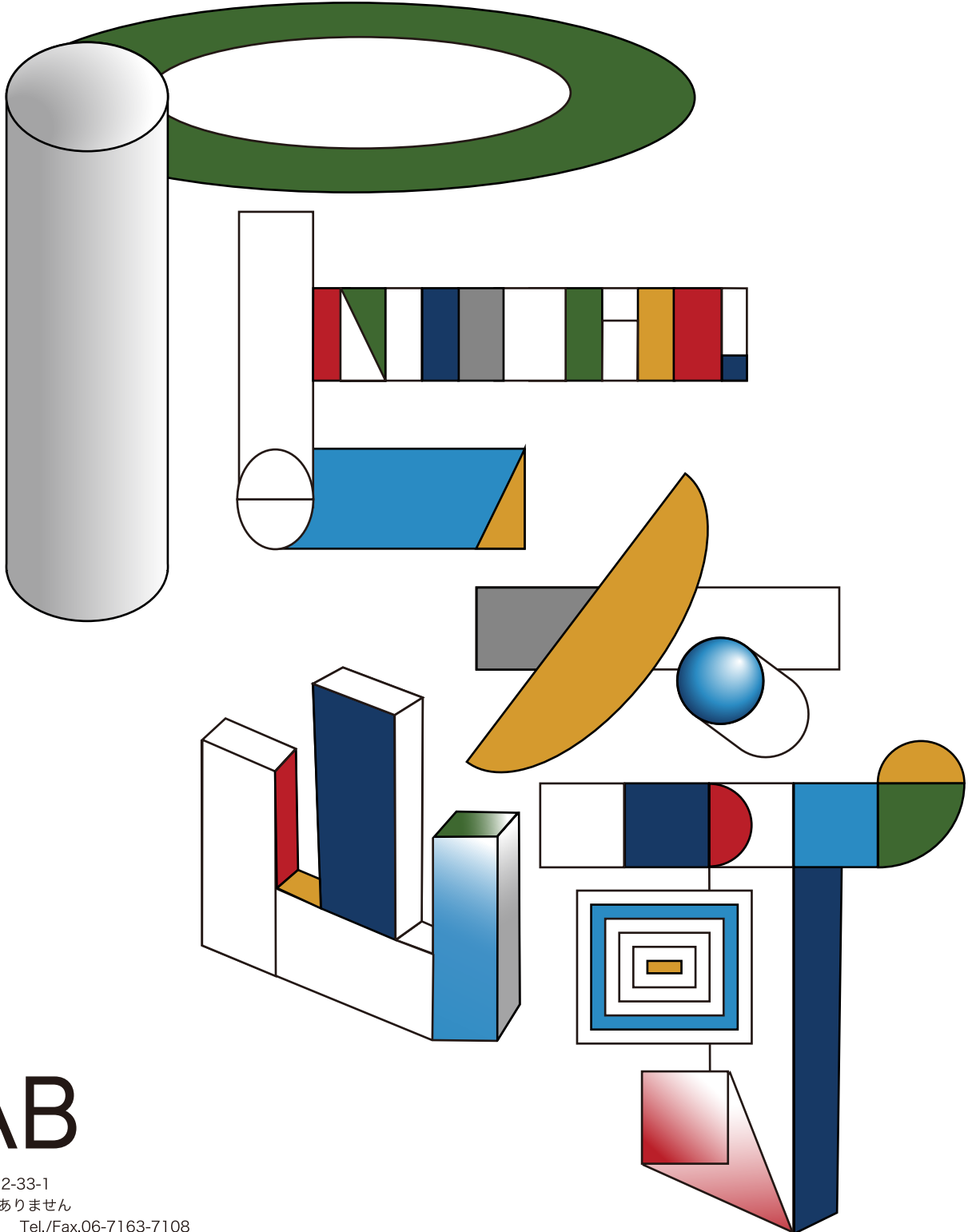
2023年8月26日 | 土 |
9月10日 | 日 |

平日11時~19時 / 土日祝 10時~18時
休館日：火曜日 / 入場料：無料

映像作家の林勇気氏、デザイナーの後藤哲也氏が監修し、追手門学院大学と近畿大学の学生たちがリサーチを元に作品を制作する合同リサーチプロジェクト「RE:AMA」を開催します。「RE:AMA」は、尼崎の新たな魅力を探ると同時に、学生たちの表現活動を応援する実験的プロジェクトです。尼崎にゆかりのない学生らが尼崎を訪れ、実際に触れることでどのようなことを率直に感じ、読み解き表現するのでしょうか。もしかするとそこには粗削りでありながらも嘘偽りのない純粋な尼崎のイメージが構築されるのかもしれない。今回は城下町の風情を今に伝える寺町エリアをリサーチ範囲として、土地や人と向き合いながら取材を重ね、写真や映像、デザインなどによるアプローチで作品を制作し A-LAB での展開を試みます。



寺
町
×
人



A
LAB